

春季展

圓鏢勝三

# 旅の軌跡



「海辺の踊」 1963年

2024

3.26 火

6.16 日

開館時間／午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

入館料／大人420円（340円）高校生310円（250円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※中学生以下・70歳以上（要年齢確認）、各種手帳をお持ちの方（スマートフォンアプリ「ミライロID」も利用可能）は無料

各種手帳をお持ちの方 ※対象は以下の通りです。

- ・身体障害者手帳 …所持本人(1級～4級の場合は付添人1人)
- ・療育手帳 …所持本人、および付添人1人
- ・精神障害者保健福祉手帳 …所持本人、および付添人1人



圓鏢勝三彫刻美術館

ENTSUBA KATSUZO SCULPTURE MUSEUM

〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾 220 番地

TEL.(0848)76-2888 FAX.(0848)77-0071



# 春季展 圓鰐勝三 旅の軌跡



圓鰐勝三は明治38（1905）年に尾道市御調町に生まれ、16歳の時に彫刻家を志します。昭和5（1930）年に帝展に出品した作品が初入選を果たし順調に彫刻家人生を歩み始めた圓鰐ですが、昭和16（1941）年に太平洋戦争が勃発し翌々年には軍需美術推進隊・彫塑班の一員として国内の炭鉱を回り激励彫刻の制作を行いました。

やがて戦争が終わると、昭和37（1962）年に3か月間で東南アジア・中近東・欧米の20数か国を訪れて各地の美術館、博物館や美術学校の在り方について学びました。その後も、日本画家である堅山南風と共に欧州やタヒチを巡り、長年のあこがれであった中国各地にも訪れています。旅先で目にした景色やその時の感動は圓鰐芸術に大きく影響を与えました。

今回の春季展「圓鰐勝三 旅の軌跡」では、圓鰐勝三の「旅」に焦点を当て、彫刻作品をはじめスケッチやエスキースをご紹介します。日本とは違う文化や芸術に触れ、自身の作品に巧みに反映させた彫刻の表現をお楽しみください。



①



②



③



④



⑤

- |             |       |
|-------------|-------|
| ①タヒチの追想     | 1976年 |
| ②旅情         | 1965年 |
| ③ムーランルージュの夜 | 1973年 |
| ④浜辺の歌       | 1976年 |
| ⑤ランギロアの少女   | 1976年 |



## 【交通機関】

[JR・バス利用]

JR 尾道駅、JR 新尾道駅から、中国バス「甲山」行きに乗車、「道の駅クロスロードみつぎ」下車 タクシーで10分

[車利用]

東・北からは、尾道自動車道・尾道北 IC 経由、西からは山陽自動車道・三原久井 IC 経由国道486号線で御調町へ、国道184号線経由で府中分かれ交差点を左折して約5分

## ■会期中のイベント■

・みつぎ桜まつり 2024/4/7(日)11:00～

・みつぎ写真展

詳しくはHP、各SNSをご覧ください。



圓鰐勝三彫刻美術館

ENTSUBA KATSUZO SCULPTURE MUSEUM

〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾220番地

TEL.(0848)76-2888 FAX.(0848)77-0071

HPはこちらから

